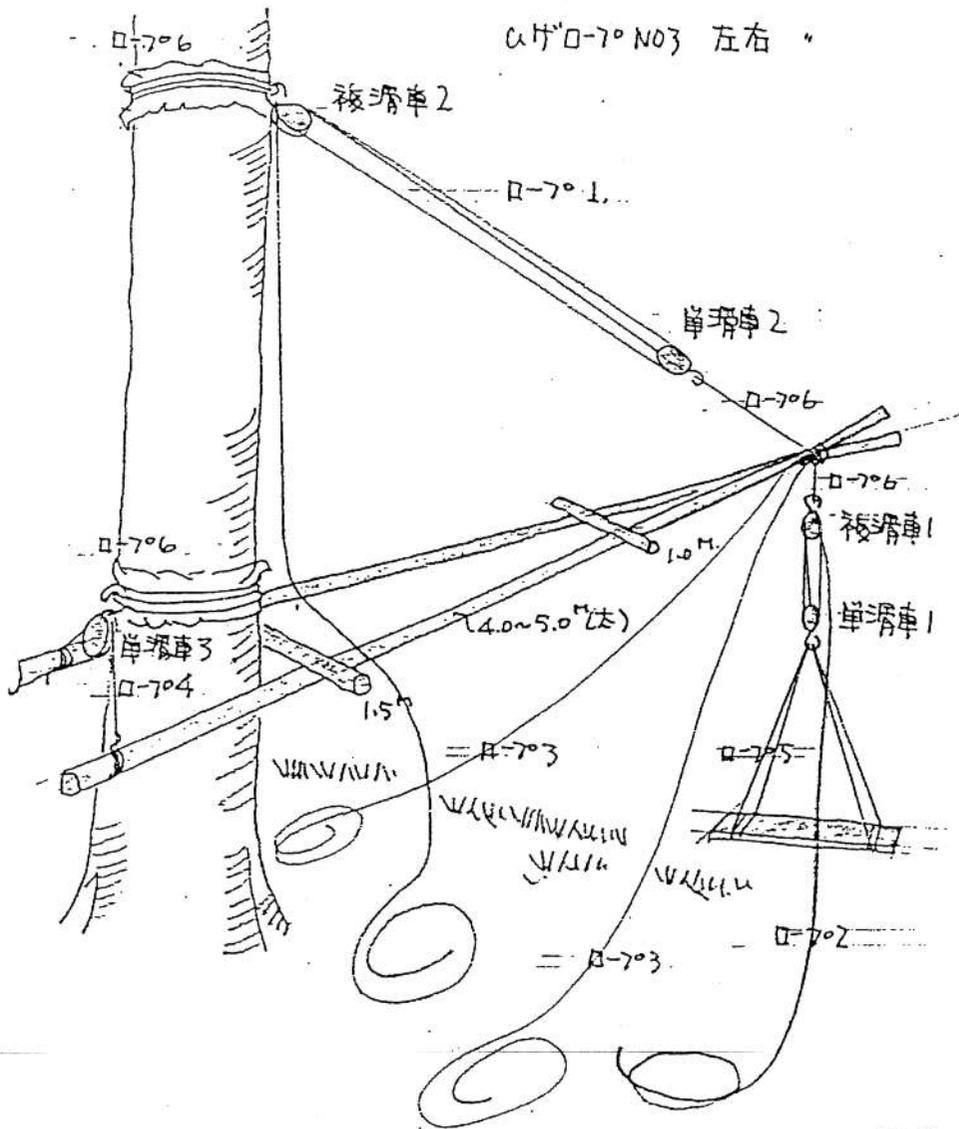


# №7 起重機 (上下, 左右水平移動可能)

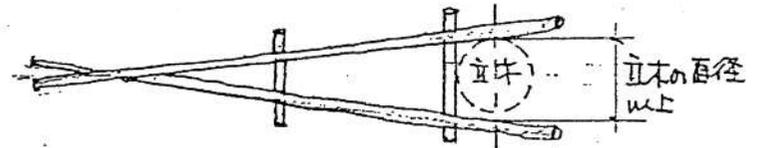
親口-7° N01 水平移動  
 子口-7° N02 上下  
 口-7° N03 左右



- |  |  |
|--|--|
| 1 丸太 4.0~5.0 <sup>M</sup>                      | 2 <sup>本</sup> 8 台付口-7°(N06) 5 <sup>M</sup> 4 <sup>本</sup> |
| 2 " 1.0~1.5 <sup>M</sup>                       | 2 9 荷台口-7°(N05) 5 <sup>M</sup> 2 <sup>本</sup>              |
| 3 親口-7°(N01) 25 <sup>M</sup> 1.5 <sup>CM</sup> | ( 10 根元口-7°(N04) 3 <sup>M</sup> 1 <sup>本</sup>             |
| 4 子口-7°(N02) 20 <sup>M</sup> 1.5 <sup>M</sup>  | ( 11 滑車(単車) 3 <sup>台</sup>                                 |
| 5 口-7°(N03) 20 <sup>M</sup> 1.0 <sup>CM</sup>  | 2 12" (複車) 2 <sup>台</sup>                                  |
| 6 立木養生麻袋                                       | 4 <sup>本</sup> 13 椅子用板又は丸太 1 <sup>本</sup>                  |
| 7 荒存水(約3.0 <sup>M</sup> )                      | 10 <sup>本</sup>  |

## A 準備

1 地上にて2本の丸太を用いて二又を作る。



- 注1 丸太の細い所を交る處(滑車を付ける所)にすると荷物を掲げる時折れる。
- 注2 丸太の根元の向隅は取付ける立木の幹の太さより広くする
- 注3 横丸太の取付位置は丸太根元より立木の幹の直径+30<sup>CM</sup>以上とする

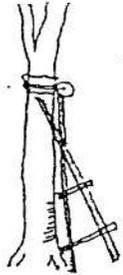
2 立木の幹に麻袋で養生をして単滑車3を取付ける。

注1 取付ける高さは約1<sup>M</sup>~1.5<sup>M</sup>

### 3 立木の上の叉に後滑車2を取ける。

注1 取付ける高さ約40M~45M

注2 取付ける方法は下図を参考する。



注1 準備1で作ったニ叉も使用する。

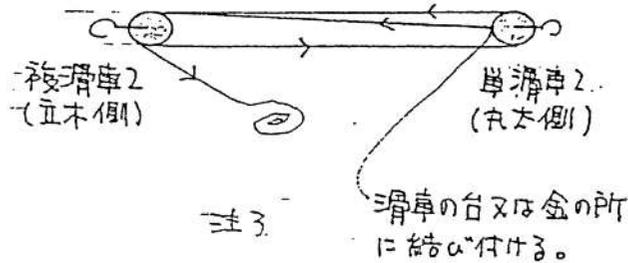
注2 高さはニ叉の交点より少し上。

### 4 親ロープを単滑車2に強く固定し他の端を後滑車2・単滑車2・後滑車2と通す。

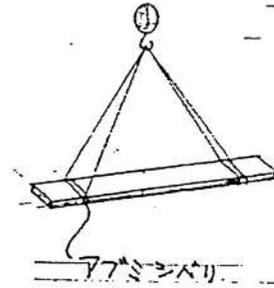
注1 後滑車2に親ロープを通してあやなしい

高い所で後で手がつかない。

注2 通す親ロープはねじれなないように、交わらない様に通す。

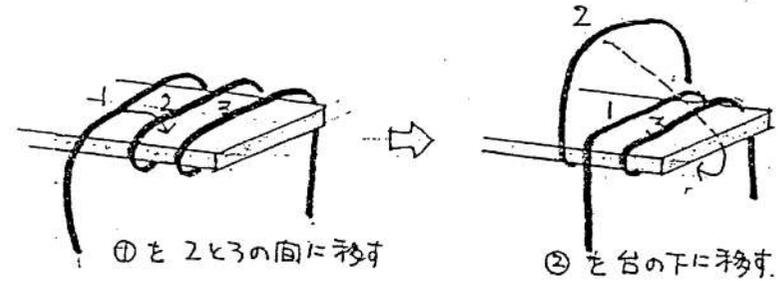


### 5 椅子台を組む。

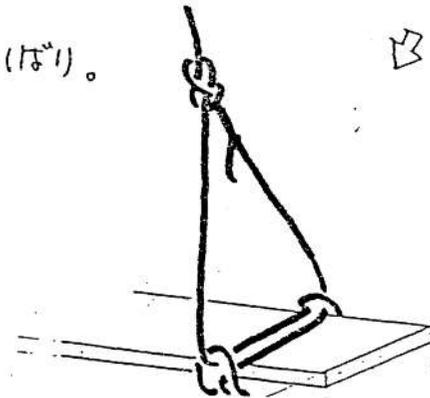


注1 4本ロープは同じ長さの所で滑車に固定する。

注2 椅子台は揚げた時には水平になること



「あがみ(ばり)。



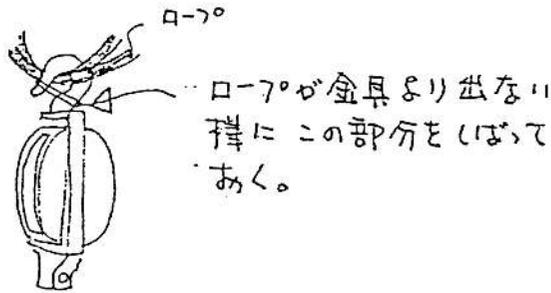
B 組み立て。

1 準備1で作った丸太の交点に単滑車2、  
複滑車1を取ける。

注1 単滑車2は上側。

注2 複滑車1は下側。

注3 滑車は「ハズレ」ない様に金の所をばる。



2 ロープ2 (子ロープ) の端を単滑車1に固定して  
単滑車1 → 複滑車1 → 単滑車1 → 複滑車1  
と通す。

注1 ロープは交わらないこと。

注2 ロープはねじれないこと。

3 アームの根元 (準備1で作った台) を立木  
に「いサム」

4 アームの2本の丸太の根元をロープ4を  
用いて結び滑車3を通して吊る。

5 ひげロープ (誘導ロープ) を取りつける。

C 起す。

1 親ロープ (ロープ1) を引張る